



★ご寄附のお願い

〈ひょうご子ども・若者応援団への募金の内容〉

- 〈個人〉 □ 10,000円
- 〈団体・企業等〉 □ 50,000円 (一口より何口でも申し受けます。)

〈寄附金にかかる税の優遇措置〉

寄附金は、特定公益増進法人に対する寄附金として

- (1) 個人の場合は、所得税の税額控除など税制面の優遇措置が受けられます。
- (2) 法人の場合は、一般寄附金の損金算入限度額と別枠で、寄附金の合計額と特別損金算入限度額とのいずれか少ない金額の範囲内で損金に算入できます。



〈県入札参加資格における加点対象制度について〉

「ひょうご子ども・若者応援団」に対し、平成26年度中(3月末日まで)に10万円以上の寄附等を行った場合には、兵庫県が行う建設工事又は測量・建設コンサルタント等の資格審査申請において、「社会貢献評価」の「兵庫県の関係事業に対し支援を行った場合」に該当し、寄附をした翌年度(27年度)の7月1日から2年間、加点対象になります。

ただし、建設工事に係る資格審査申請においては、「社会貢献評価」の「加点希望」をしておく必要があります。

〈納入方法〉

銀行振込の場合

銀行名/三井住友銀行 兵庫県庁出張所  
口座番号/普通預金 3074378  
口座名義/公益財団法人 兵庫県青少年本部

郵便振り込みの場合

□座番号/01120-7-52444  
□座名義/公益財団法人 兵庫県青少年本部  
(所定の振込用紙により、郵便局からお振込みの場合は振込手数料は不要です。)



「ひょうご子ども・若者応援団」では



ひょうごの子ども・若者たちの元気を応援



地域で行われる様々な青少年活動への取り組みを支援



CONTENTS

- ◇平成26年度「ひょうご子ども・若者応援団」助成事業
  - ・災害復興支援特別助成事業・インターネット等(親子)学習会助成事業
- ◇マッチング事業
- ◇Pick up Project「じいちゃんの手づくりおもちゃ」
- ◇応援団への協力お願い

発行:公益財団法人兵庫県青少年本部「ひょうご子ども・若者応援団」

〒650-0011

神戸市中央区下山手通4丁目16-3

兵庫県民会館8階

TEL:078-891-7410

FAX:078-891-7418

e-mail: [ouendan2008@seishonen.or.jp](mailto:ouendan2008@seishonen.or.jp)

ホームページ: <http://www.seishonen.or.jp>

〈地方青少年本部〉

- 阪神南青少年本部 06-6481-4634
- 阪神北青少年本部 0797-83-3138
- 東播磨青少年本部 079-421-9105
- 北播磨青少年本部 0795-42-9352
- 中播磨青少年本部 079-281-9198
- 西播磨青少年本部 0791-58-2131
- 但馬青少年本部 0796-26-3648
- 丹波青少年本部 0795-72-5168
- 淡路青少年本部 0799-26-2048

ホームページをご覧ください!

各事業報告書、助成金情報など最新のトピックスを随時ご紹介しています。

公益財団法人兵庫県青少年本部ホームページ <http://www.seishonen.or.jp>



## 平成26年度「ひょうご子ども・若者応援団」助成事業

平成26年度から助成率を「定率」から「定額」に変更し、青少年団体・グループ等がより利用しやすい制度に見直しました。

また、「東日本大震災復興支援特別助成事業」も「災害復興支援特別助成事業」に改称し、対象事業を拡充しました。

### 「災害復興支援特別助成事業」

震災復興支援特別助成事業では、新たに、県内のみならず被災地での青少年の支援や、台風・豪雨等の自然災害で被災した青少年を支援する事業についても対象事業として拡充しました。

- ◆石巻市へ赴き、多世代交流が図れる「コミュニケーション麻雀」や、「絆マット」を使ったあそびのプログラムを実施する「子ども笑顔プロジェクト」事業
- ◆福島県の子どもたちを兵庫に招き、屋外で元気いっぱい遊んでもらう保養キャンプ
- ◆子どもたちがロープネットなど手作り遊具で自由にのびのびと遊べる「子どもの冒険遊び場」を被災地へ届ける出前事業
- ◆東日本大震災で被害を受けた野田村の子どもたちを西宮に招待し、西宮の子どもたちと高校野球観戦などで交流を深める事業など、様々な事業を支援しています。



### 「インターネット等（親子）学習会助成事業」



PTA や青少年団体、自治会等が実施する、インターネット等の利便性と危険性を知る学習会を支援しています。



#### 〈学習会に参加した団体・保護者等の声〉

- ◆専門の講師先生のお話は大変役に立った！
- ◆親の知らないところで子どもたちがネット上の危険に日常的にさらされていることを認識した。
- ◆子どもたちの大部分は自分の趣味や交流のためだけにスマホやネットを使っており、もっと社会的意義のあることに利用できればと思う。子どもたちがトラブルにあわないための方法を伝えると共に、目的を持った使い方ができるよう、時代に合った教育に取り組んでいく必要があると考える。 など

災害復興支援・インターネット学習会助成事業の募集要領等詳細は・・・

兵庫県青少年本部ホームページ「団体・グループの支援 ひょうご子ども・若者応援団」→「応援団の助成事業」ページに掲載しています。

## マッチング事業

### マッチング事業では？

次代を担う青少年の健やかな成長を地域ぐるみで支援するため、企業等から提供される物資等様々な資源を、それらを必要とする青少年育成に取り組む団体・グループ等へと橋渡しを行い、地域の青少年活動の活性化を図っています。



#### 【提供資源の一例】

- 飲食物・学用品・サンプル・記念品・イベント配布物等の活動物資
- 展示会・イベント・行事等の各種施設
- 講師・ボランティア・スタッフ等の人材
- 農場・工場見学・体験活動機会・職業体験機会

★企業等から提供される資源の情報を、「ひょうご子ども・若者応援団」に登録されている団体・グループへメール・FAX でお知らせします。

#### 〈登録を希望される団体・グループへ〉

登録を希望する団体・グループは登録申込書と団体の定款又は規約等の会則を兵庫県青少年本部に提出してください。

#### 〈企業・事業者へ〉

青少年活動への資源提供についてご協力（加盟）をお願いします！



加盟・登録申込書は、兵庫県青少年本部ホームページ「団体・グループの支援 ひょうご子ども・若者応援団」をクリック→「ひょうご子ども・若者応援団」ページからダウンロードできます。

## Pick up Project

平成26年度上期一般助成事業採択団体

「じいちゃんの手づくりおもちゃ」代表の牧本繁満さんにお話を聞きました。



#### ◆活動を始められたきっかけは？

水鉄砲や凧など昔の手づくりおもちゃを子どもたちに教え、一緒に作って楽しむことで青少年の健全育成に寄与できればと思い、平成9年からじいちゃん2人で始めました。現在は22人のメンバーが活動しています。当初は年間5～6回のイベントへ参加していましたが、今年度は出前教室を25回開く予定です。

#### ◆ご苦労されていることは？

出前教室は全て自費なので助成金は大変助かります。また、材料の「笹笛の女竹、水鉄砲の竹」やヤジロペー用の「ドングリ」などは、長崎や広島の親戚、知人に送ってもらっており、材料の調達に苦労しています。

#### ◆嬉しかったことは？

小学校の子どもからは「楽しかった」、「ありがとう」などの手紙や、幼稚園児からは敬老の日が近づくと「手づくりのペンダント」などをいただいております。

#### ◆今後の目標は？

始めるときは「お願いします!」、完成したときは「ありがとうございました!」の「あいさつ」と「感謝」の気持ちを大切に、子どもから高齢者まで、世代交流の懸け橋になればと思っています。

